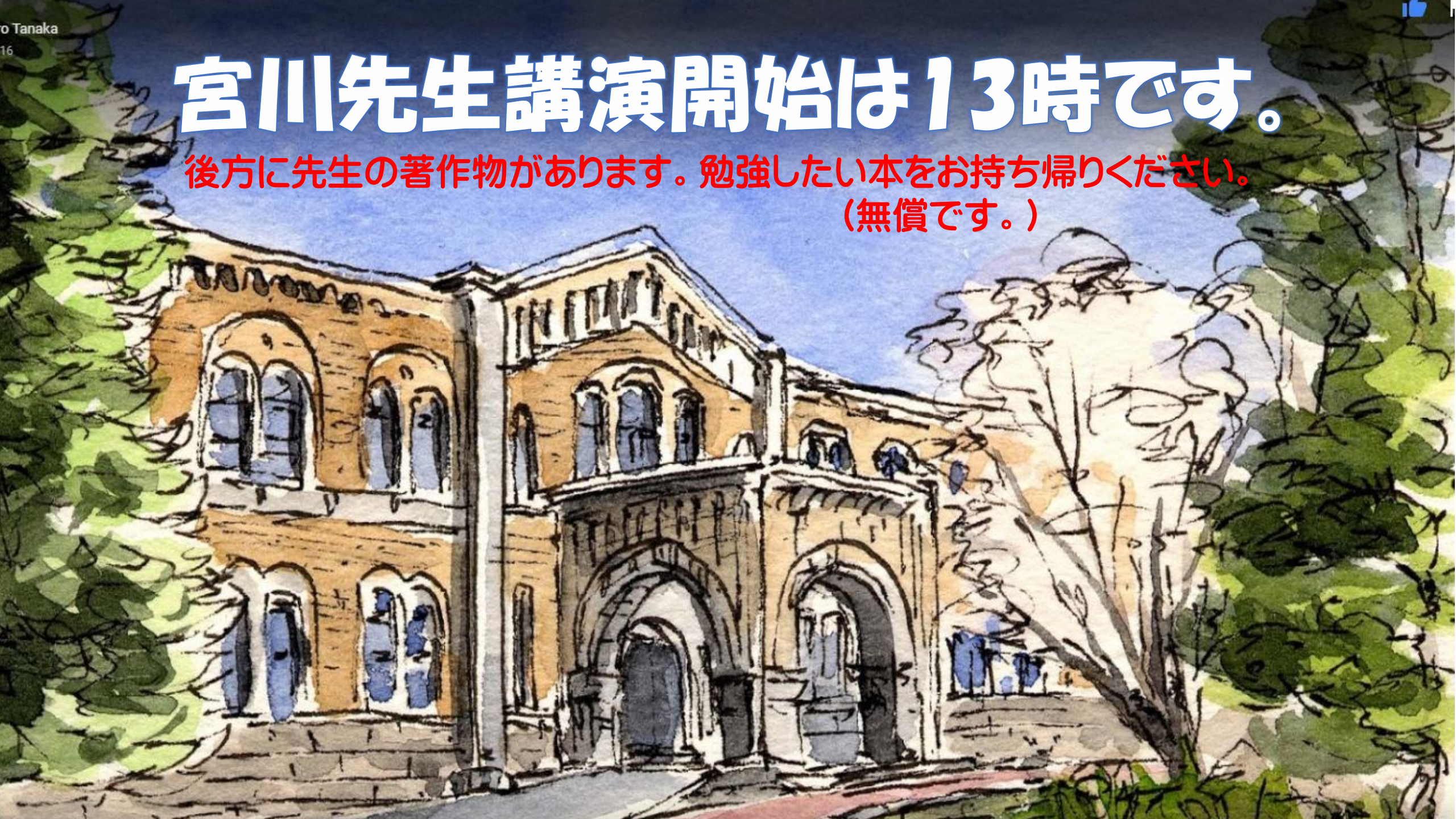


# 宮川先生講演開始は13時です。

後方に先生の著作物があります。勉強したい本をお持ち帰りください。  
(無償です。)



## 「不確実な時代のこれからの日本を考える」

2016年11月 一橋祭講演(不確実性の世界)から3年を経て

1970年代の三大ショックの再考

1) ニクソン・ショック

経済の金融化・カジノ化へのスタート

2) 成長の限界

資源・環境・生活の質

3) オイル・ショック

石油価格の変数化

そして これから

資本主義と民主主義はどうなるのか？

日本は、アメリカはどうなるのか？

大学時代に教えなかった統計学 講義

不正統計問題が露呈している今、統計のあり方・使い方を講義

テキスト 「統計学でリスクと向き合う」

「統計学の日本史」 等

1) 2種類の誤りと仮設検定論

2) リスクと心配の時代を生き抜くための統計学

3) 統計学は明治の先人に学べ

日時 : 令和元年 11月9日

会場 : 新宿アイランドタワー 麗澤大学東京研究センター

**2016年 11月6日**

**一橋祭での講演**

如水会共催卒業生向け企画

宮川公男名誉教授特別講演

「私の一橋大学 30 年とその後の 20 年を振り返って」  
～この 50 年とこれからの日本を考える～

日時：11/6(日) 13:00～14:30

場所：如水会百周年記念インテリジェントホール

## **テーマ**

**不確かさの中での不安と心配の時代**

**1970年代からの資本主義の変容**

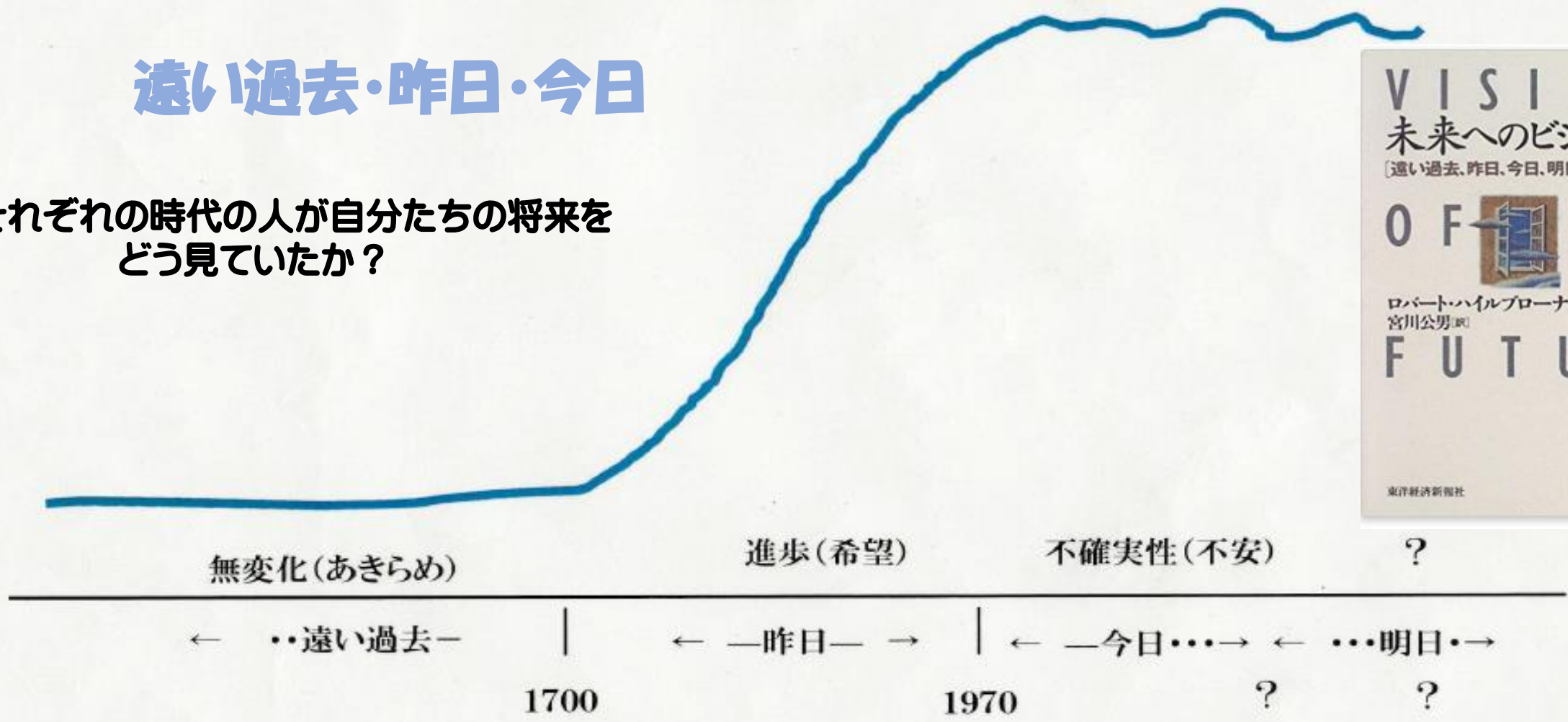
**アメリカと日本**

# ハイル ブロナー (宮川訳) 『未来へのビジョン』 (1996)

## 人類十数億年の歴史を3分割

遠い過去・昨日・今日

それぞれの時代の人自分たちの将来を  
どう見ていたか？

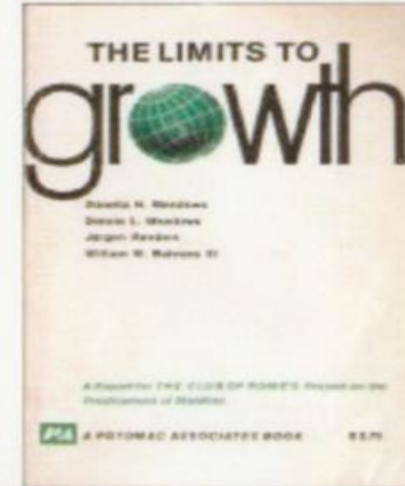


# 経済指標に見る過去の70年



# 70年代 3つのショック

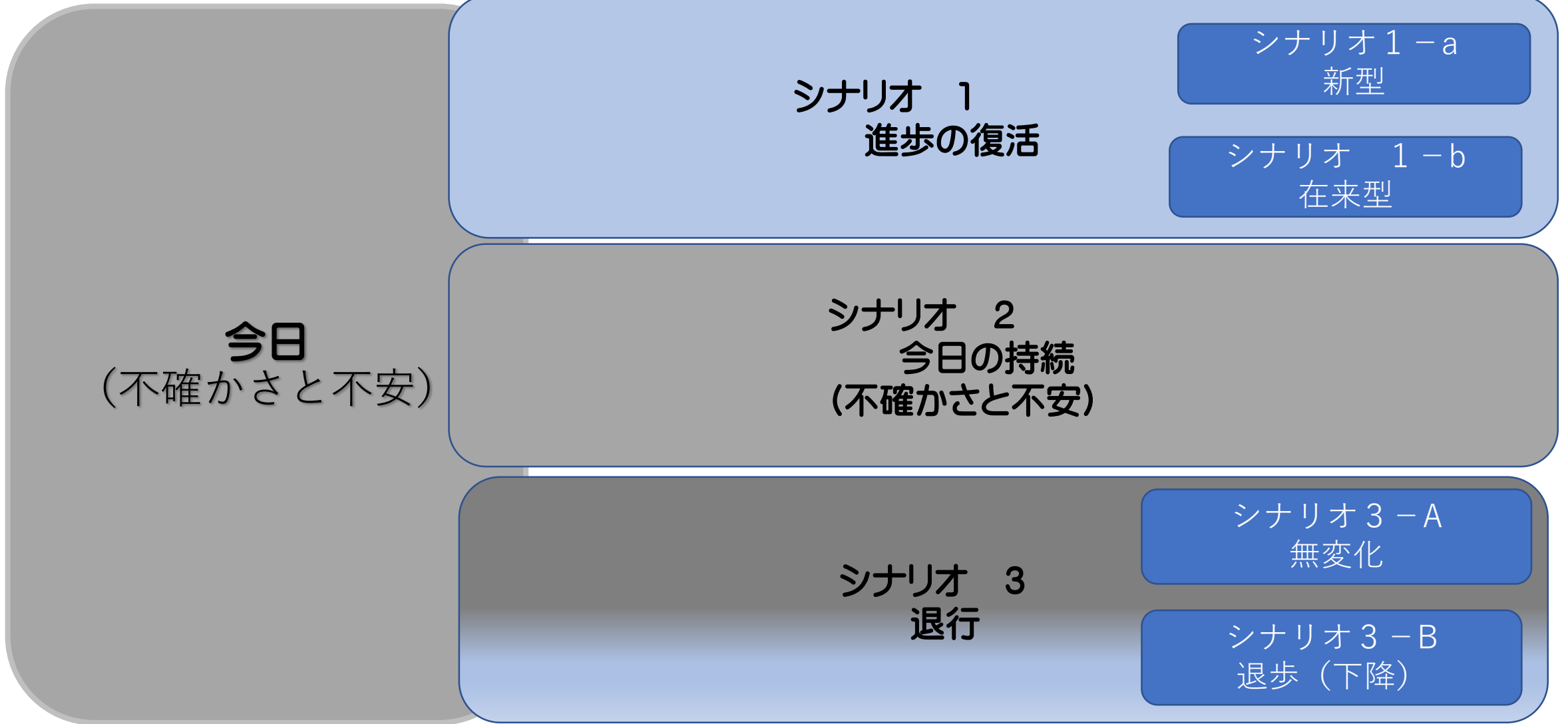
- ニクソン・ショック(1971)
- 「成長の限界」ショック(1972)
- オイル・ショック(1973, 1978)



Yomiuri Online  
<http://www.yomiur7.co.jp>

# 未来のビジョン - 3つのシナリオ

明日



(注) 各シナリオとも多次元的、正負次元の組み合わせ

# 日本経済新聞

9月19日

木曜日

発行所 日本経済新聞社  
 東京本社 電話(03)3270-0251  
 〒100-8166 東京都千代田区大手町1-3-7  
 大阪本社 電話(06)7639-7111  
 名古屋支社 電話(052)243-3311  
 西部支社 電話(092)479-3300  
 札幌支社 電話(011)281-3211



Tokyo Century

「金融サービス×事業」の領域へ  
東京センチユリー

www.tokyo-century.co.jp

## 攻撃「イラン関与」

サウジ「証拠」公開 3



# 社債発行世界で急拡大

## 低金利背景 9月、最高ペース

## 海面上昇最大1メートル超

## 今世紀末 温暖化で10億人危機

国連報告案

# 確定拠出年金 手数料下げ競争

情報をインターネット上で公表するように求めた。  
 公表が始まり、同じ指数に連動する投資でも信託報酬率が異なることが、加入者からわかるようになった。報酬率が高ければ多いと運用管理機関に選ばれなくなる可能性も出てきており、お

「AIと

「AIと直接す  
 み合わず」。第一生命恒例の「サラリーマンオフ企画」として、一定の学生が就職活動で優秀な12人を発表。その中で、学生が30



0-12(土) 朝刊

日

# 日本経済

## チャートは語る

投資家の資金量の増減は、株式市場が、投資家に余ったお金を返す場になっている。世界の市場企業は株式発行による調達を減らす一方、市場から株式を買い上げる自社株買い(3割増し)の増加している。自社株買いから株式調達額を差し引いた「買い戻し額」は過去5年の累計で約1兆8000億円(約200兆円)にのぼる。流れが変わったのは2000年代に入ってから。

## 資金吐き出す株式市場

日本経済新聞社がQUICK・ファクトセットとリフィニアップのデータをもとに、世界の株式による資金調達と自社株買いの金額を比較した。金融危機後の一時期を除き、01年以降、一貫して自社株買いの方が多。企業が調達よりも株主にお金を返す側に回っていることになる。返還の勢いは年々増しており、18年は差し引き7200億円の買い戻しとなった。15年からは計約1兆8000億円にのぼる。

過去5年「自社株買い」>「調達」200兆円

## 社債利回り0%発行

国内初、トヨタ系が200億円

2019-9-22

(明和20年9月22日第三種郵便物認可)

CL0

# 日本経済新聞

## 「債務の宴」静かな異変

米低格付け融資 資金流出続く

# 今年起こった問題

## 『統計不信』問題

### 厚労省不正統計問題

毎月勤労統計調査（GDPも左右する基幹統計の一つ）勝手にサンプル調査に変更し、補正も行わずこれを放置すれば日本は確実に後進国に転落する

## 老後金融資産2000万円



## カルロス・ゴーン (CEO)巨額報酬



## 米BRT宣言（8・19）

8月19日、米国の主要企業の経営者団体、ビジネス・ラウンドテーブル（BRT）は「会社の目的」に関する声明文を公表した。同団体はこれまで標榜してきた「株主第一主義（shareholder primacy）」を見直し、すべてのステークホルダーの利益に配慮することにコミットした。

## 金融混乱と経済の金融化

アメリカでは1980年代以降、GDPの拡大と比較して金融資産・負債の拡大スピードが上回る。それに合わせて、全産業利潤に占める金融部門利潤のシェアは、2000年代初頭には35%にまで達した。 **経済のカジノ化現象**

# 政策科学 と 統計学

福沢諭吉と大隈重信

『統計学の日本史』

(2017年)



## 【主要目次】

序文

第1章 幕末明治維新期のリーダーと統計——福澤諭吉と大隈重信

第2章 日本統計学のパイオニア——杉亨と呉文聰

第3章 明治22年の訳字論争(1)——森林太郎(鷗外)とスタチスチシャン今井武夫

第4章 明治22年の訳字論争(2)——森林太郎の方法学的統計学観

補論 森林太郎と衛生学——わが国の医療経済学の一つの源流

第5章 明治統計学の学問論争——数学者藤沢利喜太郎とスタチスチシャン呉文聰

第6章 国勢調査実現への歩みと第一次世界大戦——渡辺洪基、阪谷芳郎と原敬

第7章 太平洋戦争と戦後の統計制度改革——戦時経済研究の蓄積と戦後統計機関の整備

第8章 明治から現代の統計学へ——統計学と因果法則をめぐる

終章 統計と統計学の現在と未来を考える

# 統計学と不確かさの時代

『リスクと向き合う統計学』

(2003年)

(2007年)



目 次	
新版 まえがき	
ま え が き	
はじめに：情報洪水の時代に生きるには	1
第1話 往復の平均速度は？ ——常識のうっかり間違い	11
第2話 平均点は真ん中どころの点 ——平均値についての常識的な知識	16
第3話 市役所はなぜ市の中心部にあるか？ ——平均値についての常識的でない知識	20
第4話 株式投資の平均的収益率は？ ——幾何平均について	27
第5話 複利では何年で倍増するか？ ——「70のルール」	32
第6話 比率を正しく使おう ——ベースの違いを考えよ	36
第7話 法律にまでなった危ない比率の使い方 ——牛肉輸入セーフガード発動事件	42

# 統計学 治国経世の学問として

統計伯 大隈重信候回顧録

「社会の有様を静かに考えて見ますと総て此制度文物は余程複雑になる。先づ今日の世の中は法律の世の中になつて夫から一方には議論の世の中になつてなかなか帝国議會に於ては國務大臣政府委員と議員とが即ち議論する。議論で国政をやつて行く。政治も社会も學術も悉く議論である。其議論の根柢には何を以てして行くかと云ふとは非一つの学理から拠る所のものが必要ならぬ。或は漠然たる理想、漠然たる想像は丈けでは一向議論の根柢が堅く無い。段々議論が進んで行くに随つて議論を決するものは一つの証拠である。…(中略)…此問題は何で決するか。ここに拠るべきの統計が有るか無いかである」(大隈 一八九八)。

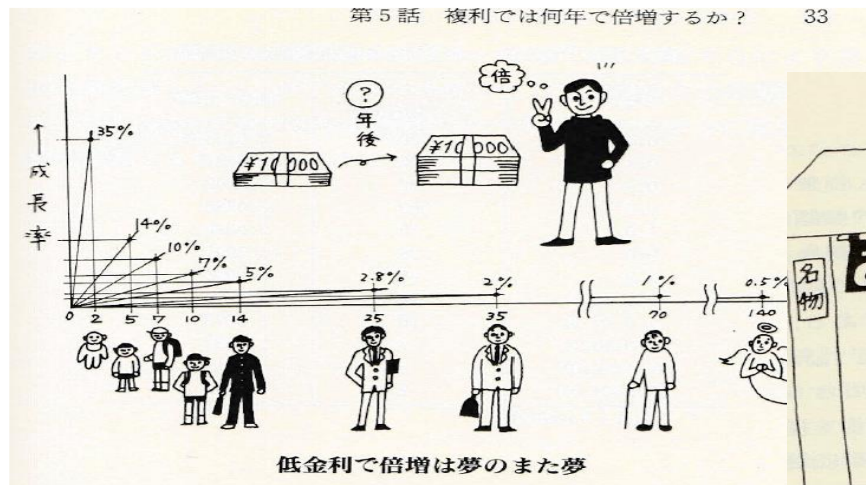
## 統計学 不確かさの中に生きるための学問として

目 次	
新版 まえがき	第8話 比率の種類を考えよ
ま え が き	——正しい使い方のために
はじめに：情報洪水の時代に生きるには	第9話 ダウ平均株価の謎
第1話 往復の平均速度は？	——平均と名がついているが
——常識のうっかり間違い	第10話 ダウ式から離れてしまった日経平均
第2話 平均点は真ん中どころの点	——日経平均はどこへ行く？
——平均値についての常識的な知識	第11話 標準偏差恐怖症をなくそう
第3話 市役所はなぜ市の中心部にあるか？	——重要なのは数式よりも <b>考え方</b>
——平均値についての常識的でない知	<b>第12話 偏差値とは何か？</b>
第4話 株式投資の平均的収益率は？	—— <b>知ってはいるが</b> わかっていない!!
——幾何平均について	第13話 「回帰」の考え方
第5話 複利では何年で倍増するか？	——条件つき平均を理解しよう
——「70のルール」	第14話 体重は身長によってどれだけ決まるか？
第6話 比率を正しく使おう	——決定係数の話
——ベースの違いを考えよ	第15話 統計学は変動の分解法
第7話 法律にまでなった危ない比率の使い方	——原因のある変動と偶然変動
——牛肉輸入セーフガード発動事件	第16話 偶然と有意
	——事件の影の犯罪を疑う
	第17話 打率がよいのにベスト・テンに入れない？
	——プロ野球選手の打率
	第18話 満席のはずの座席指定車に空席が
	——ポワソン分布の話

# 統計学は数学ではない

# 統計学は難しくない

『統計学でリスクと向き合う』より



中身はわからないが  
世の中にはこんな本も

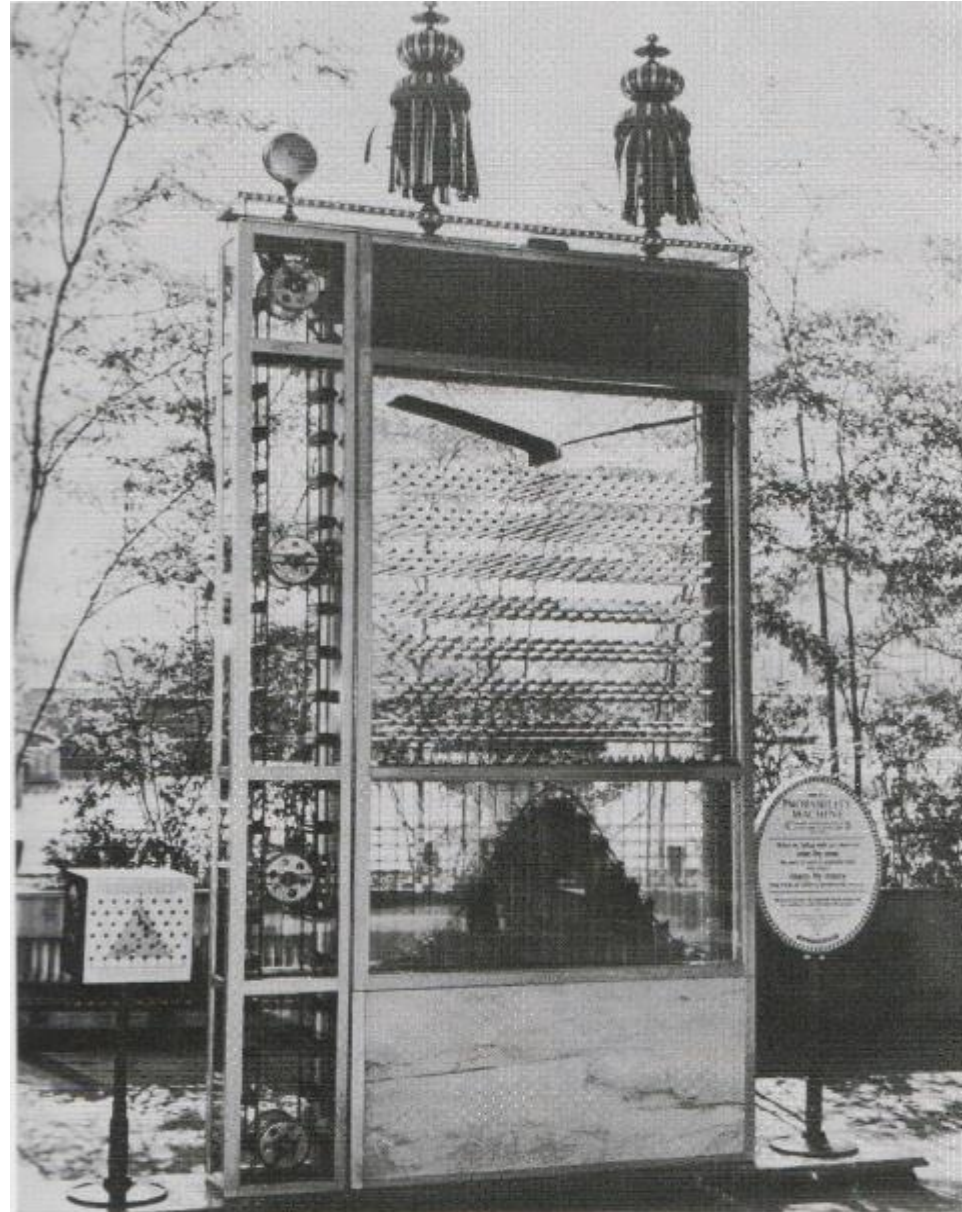
大学では教えていない統計学を今教えよう。

# 『経済学でリスクと向き合う』

数字はウソをつかない。しかし、人間が注意深く読まないで、正しい使い方はできない。本書は、著者が直面した個人的な問題あるいは関わりを持った社会的な問題を含めて、身近な話題を例にとりあげ、注意すべきポイントを解説したものである。

目次	x	目次 xi	xii
新版 まえがき			
ま え が き			
はじめに：情報洪水の時代に生きるには	1		
第1話 往復の平均速度は？	11	第19話 多数の小原因が積み重なると	第30話 痛と向き合う
—常識のうっかり間違い	11	—正規分布の話	—一時は死を覚悟
第2話 平均点は真ん中どころの点	16	第20話 うるさ型管理者と放任型管理者	第31話 痛からの生還
—平均値についての常識的な知識	16	—管理者にもいろいろ	—統計学が助けになった
第3話 市役所はなぜ市の中心部にあるか？	20	第21話 誰がリスクを負うか？	第32話 疑わしきは罰す
—平均値についての常識的でない知識	20	—品質管理への応用	—外科医と内科医
第4話 株式投資の平均的収益率は？	27	第22話 株式の売り時・買い時	第33話 法律家が統計学を猛勉強
—幾何平均について	27	—もうはまだなり、まだはもうなり	—統計学に関わった長い裁判
第5話 複利では何年で倍増するか？	32	第23話 遅いお帰りで心配しない？	第34話 統計学と政策科学と医学
—「70のルール」	32	—仮説検定の考え方	—古い歴史的関わり
第6話 比率を正しく使おう	36	第24話 東京の菓子屋の在庫管理	第35話 統計を使ってウソをつく
—ベースの違いを考えよ	36	—福沢諭吉と統計学	—統計数字の政治学
第7話 法律にまでなった危ない比率の使い方	42	第25話 コンビニのお弁当の仕入れ	おわりに：科学の経済の法則
—牛肉輸入セーフガード発動事件	42	—多すぎても少なすぎても	247
第8話 比率の種類を考えよ	48	第26話 囲碁のルールと統計学	索引
—正しい使い方のために	48	—コミ5目半から6目半へ	
第9話 ダウ平均株価の謎	55	第27話 囲碁のハンディを統計学で考える	
—平均と名がついているが	55	—手直りと仮説検定論	
第10話 ダウ式から離れてしまった日経平均	63	第28話 前立腺癌診断における2種類の誤り	
—日経平均はどこへ行く？	63	—癌マーカーの信頼性	
第11話 標準偏差恐怖症をなくそう	75	第29話 職場健診の結果が気になる	
—重要なのは数式よりも考え方	75	—ベイジアン理論	
第12話 偏差値とは何か？	82		
—知ってはいるがわかっていない!!	82		
第13話 「回帰」の考え方	90		
—条件つき平均を理解しよう	90		
第14話 体重は身長によってどれだけ決まるか？	96		
—決定係数の話	96		
第15話 統計学は変動の分解法	105		
—原因のある変動と偶然変動	105		
第16話 偶然と有意	110		
—事件の影の犯罪を疑う	110		
第17話 打率がよいのにベスト・テンに入れない？	114		
—プロ野球選手の打率	114		
第18話 満席のはずの座席指定車に空席が	119		
—ポワソン分布の話	119		

# 確率器機 (Probability Machine)



# 宮川名誉教授 令和元年 記念講演 終了

後方に先生の著作物があります。 勉強したい本をお持ち帰りください。  
(無償です。)

そして 宮門会会員は B1F SAKURAダイニングへ移動ください。